

産業システム部会・計装技術交流部会合同シンポジウム & 懇親会の報告

キーワード:

JL 0010/04/4310-0805 ©2004 SICE

産業システム部会・計装技術交流部会合同シンポジウムが昨年 11 月 21 日、東京工業大学百年記念館で開催されました。参加者は、50 人を越え盛況な中で閉会を迎えました。今回のシンポジウムは、「団塊の世代（ベテラン）のもっているさまざまな技術をどのように伝承するか」というテーマを掲げ、北森俊行先生の基調講演をはじめとし、企業や大学から一般講演として 9 件のテーマの発表（以下に発表内容概略）が行われました。

午前 基調講演・一般講演 2 テーマ (10:00 ~ 12:00)

司会 森 芳立氏（王子製紙）

●法政大（東大名誉教授）北森俊行先生

便利な道具が増えてきて仕事が操作的になり、過去に築き上げてきた技術や本質的な基礎がわからなくても仕事ができる。このような時代に技術の伝承をどう考えるかに関する講演。

●JFE 技研 加地孝行氏

鉄鋼業において、熟練者の業務についてナレッジマネジメントを活用し、情報・ノウハウの共有化等をはかり、競争力アップやレベルアップに期待することに関する講演。

●山武 森 亮一氏

直接作業者の技能を伝承するうえで、直接作業者の生き甲斐とキャリアパスを開発することが最も重要であるということに関する講演。

午後 一般講演 7 テーマ (13:00 ~ 17:00)

司会 佐藤博司氏（東芝）、杉山 保氏（昭和エンジ）

●慶応大 本多 敏先生

日本技術者教育認定機構 (JABEE) と技術者の継続的な自己研鑽 (CPD) に対する SICE としての取り組みに関する講演。

●日産人材開発センター 猪狩直人氏

新しい教育体系構築に至る過程の中で、いかに自分たちの役割に気づき、かつ自社の強みを生かし教育の企画実施を行ってきたかに関する講演。

●三菱化学エンジニアリング 馬場岳彦氏

化学プラントにおける運転の非定常作業に運転支援システムを活用し、熟練オペレーターの運転ノウハウの保存・継承や運転の更なる保安安全確保を行った事例の紹介。

●東芝三菱電機産業システム 瀬名一生活氏

鉄鋼業向けのプロセスコンピュータシステムに着目し、発展経緯と情報システムにて加速されている IT の各種ソリューションのプロコンシステムへの適用に関する講演。

●三井化学 松尾 徹氏

ベテランが脳の中で行っている異常の発見（プロセス挙動解析）を Wavelet 変換を利用することにより、異常パターンを抽出する方法と応用例に関する報告。

●新日本石油精製 井内裕顕氏

大規模製油所において、10 年以上継続して運用されている AI 技術を応用して構築したユーティリティーバランス異常時対応システムに関する講演。

●日揮 菊池早苗氏

総合エンジニアリング会社の入社 5 年目の若手エンジニアが、伝承される側から見た配管設計技術およびその伝承方法についての講演。

上記発表内容についてはホームページ：<http://www.sice.or.jp/keisoueg/> <http://www.sice.or.jp/ia-div/2003goudoushinpo.html> から、一部ご覧になることができます。

計測制御エンジニア懇親会

講演の後、懇親会が開催されました。講演者を含めて 30 名近くの方に出席いただき、実際の講演のときには聞けなかった質問や相談が飛び交っておりました。フォーマルな場所のみでなく、さまざまな場所でのコミュニケーションが、人と人のつながりを深め、「技術の伝承」にもつながるのではないかと感じた 1 日でした。

（計装技術交流部会：東京ガス（株）淵 昌彦）

（2004 年 2 月 4 日投稿受付）



写真 1 講演会風景



写真 2 懇親会風景